

令和5年度大野市休日急患診療所運営協議会 会議概要

令和5年10月4日（水）午後7時～
結とびあ303号室

1 開会

2 会長・副会長の選任

会 長：高井委員（大野市医師会）

副会長：尾崎委員（大野市医師会）

3 会長あいさつ

4 議題

(1) 報告事項（前年度業務報告）

①歳入歳出決算

（資料1）

○事務局：資料1に基づき説明

○主な意見等

・生化学自動分析装置とAEDを購入した理由はなにか。

⇒保守管理の期間が切れたことから、適切な診療及び施設運営を継続するために更新した。

②休日急患診療所の利用状況

（資料2）

○事務局：資料2に基づき説明

○主な意見等

・勝山市からの受診率はどのくらいか。また、小児科の受診者数が多いのか。

⇒勝山市からの受診者数292人は、全体の約15%となっており、小児科の受診率は高くなっている。

・新型コロナウイルスの陽性率はどのくらいか。

⇒令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症が感染症法上2類相当から5類へ移行したことにより、休日急患診療所でも検査を行っており、陽性者は多い。

・受診者数を前年度と比べているが、新型コロナウイルス流行前と比べるとどうなっているか。

⇒平成30年度と比べると、半数近く減っている。

③休日急患診療所への搬送状況（大野市消防本部）

（資料3）

○藤田委員：資料3に基づき説明

○主な意見等

・ドクターヘリの出動回数が、大野市は人口に対して多い。かかりつけ医がいるにも関わらず、ドクターヘリの出動回数が多いのはどうか。

⇒通報段階でドクターヘリ判断を行い、ヘリコプター到着後、ドクターが診療し、福井県立病院及び福井大学医学部附属病院に搬送するか、市内の病院に搬送するか判断をしている。

④放射線業務の状況（福井県放射線技師会）

（資料4）

○高田委員：資料4に基づき説明

新型コロナウイルス感染症が始まって休日急患診療所の受診者数が減少しているが、比例して撮影者数も減っている。

(2) 協議事項（本年度業務について）

①歳入歳出予算

（資料5）

○事務局：資料5に基づき説明

○主な意見等

・決算報告は円単位、予算報告は千円単位なので、統一してはどうか。

⇒来年度より統一することを検討する。

(3) その他

新型コロナウイルス感染症の5類移行後の受診状況と対応について(資料6)

○事務局：資料6に基づき説明

○主な意見等

・5月8日から外来対応医療機関に手を挙げたが、職員が新型コロナウイルスに感染するなど院内感染は起きてないか。

⇒これまで起きていない。

全般的なことについて

・流出患者が大野市は非常に多い。土曜日、日曜日に大野市休日急患診療所を開所する意味があるのか。縮小するべきではないか。

⇒休日急患診療所を多くの方が受診しており、大野市民の安心につながっている。

⇒勝山市も同じ状況にあり問題視されている。受診動向のデータを分析し、流出を防ぐことを考えるべきである。奥越の患者の受診動向を把握してから議論した方が良い。